

第7回 完成検査の改善・合理化に向けた検討会

1. 日 時：令和3年2月10日（水）13:30～15:10
2. 場 所：中央合同庁舎3号館8階特別会議室
3. 出席者：大聖委員、竹内委員、廣瀬委員、神野委員、山田委員、西野委員、
萩原委員、関口委員、真壁委員、館野委員、丹野委員、富樫委員
4. 議事（概要）

昨年12月に開催された「第6回 完成検査の改善・合理化に向けた検討会」の結果を踏まえ、本年度の調査内容の進捗報告及び当該調査結果に関する議論が行われた。

➤ 自動化検査の導入促進

- ・（研）新エネルギー・産業技術総合開発機構において実施されている「規制の精緻化に向けたデジタル技術の開発」の「AIを活用した自動車の完成検査の精緻化・合理化に係る調査」による実証調査の進捗状況が共有され、実証を通じて抽出された課題や対処法等について議論があった。
- ・実証調査及び他分野含む自動化検査事例の調査結果を踏まえ、事務局より自動化検査実用化ガイドライン案が提示された。
- ・ガイドライン案に関して、必要なAIの機械学習量を含む判定精度の確保方法、設備の設置場所等の環境要因による設備異常への影響等について議論があった。

➤ 国際調和の観点からの型式指定制度等のあり方

- ・COP（製造の適合性）ステートメントの活用の検討のため、国際協定に基づく他国におけるCOPステートメントの発行／受け入れの実績が報告された。
- ・日本版COPステートメントの発行に向けた検討状況が報告された。

➤ 監査の合理化

- ・上記実証調査を通じて抽出した各監査手法の評価、合理的な監査手法の選定結果、作成したリモートツールの機能及び今後の検討課題が報告された。
- ・作成したリモートツールについて、表示情報の真正性の担保方法について意見があった。

➤ 総括

- ・本年度の検討内容の取りまとめとして、報告書案が提示された。

以上